

■ コミュニティバス利用者・非利用者アンケート調査結果

1 調査の目的

あしがるバス利用者の動向の変化を捉えるとともに、バスの利用促進に向けた取り組みを実施するための基礎資料とする。

2 実施手法

区分	内容	
①調査対象	利用者	あしがるバス利用者
	非利用者	公共施設及び商業施設利用者
②実施手法	利用者	個別面接聴取法
	非利用者	公共施設：アンケート用紙を配架 商業施設：個別面接聴取法
③調査期間	平成27年8月25日(火)～平成27年8月31日(月) ※利用者については、10月12日(祝)の一日無料デーにおいても聴取。 ※非利用者については、8月27日(木)の生涯学習講座においても聴取。	
⑤前回実施年月	平成26年9月	

3 主な調査結果（単純集計：上位のみ掲載）

※回答には未回答があるため、合計が100%にならない設問がある。

【利用者アンケート 回答総数：476（前回調査321）】

(1) 利用者の属性、利用目的

前回調査と比較して、大きな変化は見られず、高齢者や主婦層による買物利用が多い。これは、日中の移動制約者の交通手段の確保というコミュニティバスの運行目的と合致している。

①地区	今回調査	前回調査
西枇杷島地区	13.9%	13.7%
清洲地区	41.0%	30.8%
新川地区	22.4%	25.5%
春日地区	10.2%	16.2%
市外	9.3%	12.5%

④職業	今回調査	前回調査
無職	35.0%	52.6%
主婦	35.5%	23.7%
会社員	8.8%	8.4%
パート等	3.5%	4.7%
学生	4.6%	4.4%

②性別	今回調査	前回調査
男性	20.5%	21.8%
女	73.9%	77.0%

⑤利用目的	今回調査	前回調査
買物	39.8%	45.5%
通院	11.9%	8.4%
公共施設	15.9%	14.9%
その他	24.5%	26.5%

③年代	今回調査	前回調査
80歳以上	17.3%	18.1%
70歳代	29.9%	35.8%
60歳代	19.8%	14.6%
50歳代	5.4%	6.9%
40歳代	5.9%	5.9%
30歳代	8.6%	7.5%

⑥利用頻度	今回調査	前回調査
初めて	11.6%	13.1%
ときどき	50.5%	44.8%
頻繁	33.6%	31.5%

(2) 利用経験について

平成26年3月29日（ルート・ダイヤ改正）以後からの利用者が約3割であった。

	今回調査	前回調査
平成21年9月（旧春日町との合併）以前から	15.7%	23.7%
平成21年10月（旧春日町との合併）以後から	10.0%	12.5%
平成24年7月7日（ルート・ダイヤ改正）以後から	22.4%	31.1%
平成26年3月29日（ルート・ダイヤ改正）以後から	27.5%	17.1%

(3) 乗り継ぎについて

乗り継ぎができることについては認知がされているが、「利用したことがある」という回答は約1割にとどまっている。

	今回調査	前回調査
利用したことがある	13.3%	9.7%
利用したことがない	56.6%	70.4%
乗り継ぎができることを知らなかった	2.0%	2.8%

【非利用者アンケート 回答総数：377（前回調査708）】

(1) あしがるバスの認知度

バスの存在自体の認知度は、約9割である。

	今回調査	前回調査
バス停・行き先・運賃・ダイヤなど、おおそ知っている	53.3%	36.2%
自宅の最寄りバス停などは知っているが、行き先・ダイヤなどは知らない	21.0%	25.3%
以前からバスの存在は知っているが、自宅の最寄りバス停・行き先などは知らない	12.5%	16.9%
最近（1年以内）、バスの存在を知った。	2.4%	1.8%
全く知らない	4.2%	3.4%

(2) あしがるバスの利用意向

「利用してもよい」という回答は、約8割であり、潜在的な利用者があることが伺える。

	今回調査	前回調査
利用したい	39.8%	20.5%
時間等の条件が合えば利用してもよい	38.5%	40.5%
利用しない	14.6%	20.2%

【共通】

(1) 自動車の利用頻度

あしがるバス非利用者は、日常的に自動車を利用している層が多い。

	利用者	非利用者
自家用車があり、日常的に運転している	10.8%	45.3%
自家用車はあるが、日常的に家族の運転に同乗する	18.8%	20.1%
自家用車を保有していない	40.6%	27.1%

(2) 自由意見（主な意見を抜粋）

良い点	悪い点	その他
・料金が100円で安い。 ・自動車に乗れないので助かっている。 ・バス停が近いので便利。	・目的地まで時間がかかる。 ・便数が少ない。1時間に1本は運行してほしい。	・回数券があるとよい。 ・高齢者は安くしてほしい。 ・イベントがあるときは、本数を増やしてほしい。